

防減災

平成19年に市社協が県社協から受託した事業に森山地区社協がモデル地区に指定されスタート。
モデル地区終了後も年1回継続されており、担当地区は町内7地区で輪番で指定し、現在は2巡目に入っています。



防災マップ作成中

担当地区の班ごとに分かれ、危険箇所や防災資源（防火水槽、販売機、井戸等）、避難経路を地図に落とし込んで「防災マップ」を作成。

「子どもや孫が仕事に出ている昼間は夜間より避難が難しい」という助言を受け、要援護者の情報交換も行いました。

また、災害に備えて準備しておく物を話し合い、発表しました。

早め早めの避難
が大事ですよ



ウエスレヤン大学の佐藤学長に
ご指導いただいています。



最後に森山の
新米おにぎりを
いただきます。



晴れの日にはまちあるきしながら、避難経路の確認。班ごとに作成した防災マップに新たに発見した危険箇所などを追加。

介護予防

80歳過ぎても家族と農作業をしたり、家庭菜園をして『生涯現役』の方が多く、自然に介護予防に繋がっています。「おすそわけした人に『美味しかばい』と言ってもらえるのが生きがい」、「畑に来るのがリハビリばい」と“元気の源”になっています。

建設

何の採れたとね～？

白菜でん
何でん
大収穫ばい

畑が介護予防や集いの場♡

自分の畑に向かう途中の畑で自然に交流があります。

また、作業の合間に近くの畑の友人と集ってしゃべり、おやつタイムが始まります。難聴の方も「畑やけん大きな声でしゃべれるとばい」と話されていました。

作業の合間におしゃべりタイム♡

ミカン
食べるね？

近所の人もしゃべりに来てくれらすとよ。



もぎたて市

収穫した野菜は、押し車で30分歩いて直売所もぎたて市に出荷。もぎたて市では、店員や出荷者同士のふれあいもあります。

コンテナをベンチ代わりに並べて座っています。



森山は日頃のお付き合いや近くの家族の支援で助け合いができています。

また、地域の祭りや行事を通して世代間交流が盛んで、地域の絆やつながりが強いという強みがあります。

世代間交流



老人会と子供会で
ゲートボール大会



各地区の老人会10チームと子ども会10チーム、総勢150名で世代を超えてグラウンドゴルフを楽しみました。

大会では子供たちに優しくアドバイスしたり、和気あいあいと楽しい時間を過ごされたそうです。



世代間交流

- ・もぐらうち
 - ・芋ほり
 - ・おこぼさん
 - ・こいのぼり祭
 - ・精霊船作り
 - ・もちつき大会
- 等々・・・



田尻地区 田祈禱祭



田植え後に豊作を祈願し、集会所前で浮立を奉納